

# 脈管・感覚器

責任者名：高橋 富久(解剖学 I 教授)

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：講義

## ◆担当教員

高橋 富久(解剖学 I 教授)

二宮 禎(解剖学 I 准教授)

## ◆一般目標 (GIO)

脈管では心臓を中心とした動脈と静脈の形態学的・機能的なネットワークともう一つの管系であるリンパ管の役割と分布について理解することで、関連教科を修得するための基礎知識とし、今後の臨床歯科医学の学修に役立つ。感覚器では感覚器官の構造について神経系と関連させながら理解し、知識として発展させる。

## ◆到達目標 (SBOs)

- ・心臓，動脈，静脈の種類と走行について説明できる。
- ・リンパ管の種類と走行について説明できる。
- ・外皮，視覚器，平衡聴覚器の構造について説明できる。

## ◆評価方法

- ・前期あるいは後期，またはその両方の適切な時期に実施する平常試験によって評価する。平常試験の日時，内容，方法等については後日連絡する。
- ・平常試験の他に，各自の理解度を可能な限り客観的に評価するための課題を課す場合もある。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
高橋 富久	金曜日 8:00~9:00 解剖学第 I 講座研究室		
二宮 禎	金曜日 17:00~18:00 解剖学第 I 講座研究室		

## ◆授業の方法

遠隔システムを利用したオンラインでの講義をおこなう。第 1~12 回までは脈管，第 13~15 回は脈管・感覚器の授業を行う。他の教科との関係で，第 4 回は 5 月 27 日 (水) 10:00~10:50 に授業時間を変更する。

## ◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	人体解剖学改訂第 42 版	藤田恒太郎	南江堂	2012

参考書	グレイ解剖学原著第3版	Richard L Drake 他	エルゼビア・ジャパン	2016
参考書	イラスト解剖学第9版	松村譲児	中外医学社	2017
参考書	カラー図解人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版改訂第3版	坂井建雄 他	日本医事新報社	2017
参考書	口腔解剖学第2版	脇田稔・井出吉信 監修	医歯薬出版	2018
参考書	口腔顔面解剖ノート	井出吉信 監修	学建書院	2014

### ◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

### ◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を良く読み、授業の目的と内容を理解すること。授業後は、配布プリントに記載されている重要な解剖学用語について教科書や参考書を利用して再度確認し、知識とする。

### ◆準備学習時間

準備学習には授業時間の2倍以上の時間を充てること。

### ◆全学年を通しての関連教科

神経（2年前期）

運動器（2年前期）

内臓（2年前期）

組織学（2年前期）

組織学実習（2年前期）

生理学（2年前期）

人体解剖学実習（2年後期）

口腔組織学（2年後期）

発生学（2年後期）

発生学・口腔組織学実習（2年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.13	1	1. 脈管とは 1) 脈管の分類 2) 血管系の構成 (教) pp.303-319	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脈管系の構成について説明できる。</li> <li>・ 血管系の構成について説明できる。</li> <li>・ 動脈と静脈の構造の違いについて説明できる。</li> <li>・ 心臓の位置と構造について説明できる。</li> </ul>	二宮 禎	C-3-4) 身体を構成する組織と器官
2		5.20	1	2. 心臓 2) 区分と弁 3) 栄養血管 4) 刺激伝導系 5) 神経支配 (教) pp.319-331	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心臓に出入りする太い血管の種類について説明できる。</li> <li>・ 心房と心室の構造と弁の種類について説明できる。</li> <li>・ 心臓の栄養血管の走行について説明できる。</li> <li>・ 心臓の刺激伝導系について説明できる。</li> <li>・ 心臓にみられる神経について説明できる。</li> <li>・ 心膜の種類について説明できる。</li> </ul>	二宮 禎	C-3-4) 身体を構成する組織と器官
3		5.27	1	3. 頭頸部の動脈 1) 総頸動脈 2) 内頸動脈 (教) pp.332-337	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左右の総頸動脈の起こり方について説明できる。</li> <li>・ 総頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・ 内頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・ 脳を栄養する動脈の種類と走行について説明できる。</li> </ul>	二宮 禎	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能
4		5.27	2	3. 頭頸部の動脈 2) 内頸動脈 3) 外頸動脈 (教) pp.332-337	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・ 頸動脈小体の位置、機能および神経分布について説明できる。</li> </ul>	二宮 禎	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能
5		6.10	1	3. 頭頸部の動脈 3) 外頸動脈 4) 顎動脈	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顎動脈の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・ 顎口腔領域を栄養する動脈の走行</li> </ul>	二宮 禎	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能

				(教) pp.337-338	について説明できる。		E-2-2)口腔領域の構造と機能
6		6.17	1	3. 頭頸部の動脈 4)顎動脈 4. 鎖骨下動脈 1)鎖骨下動脈 (教) pp.338-342	・顎動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・鼻腔の粘膜を栄養する動脈の種類と走行について説明できる。 ・左右の鎖骨下動脈の起こり方の違いについて説明できる。 ・鎖骨下動脈の枝の種類と走行について説明できる。	二宮 禎	C-3-4)身体を構成する組織と器官
7		6.24	1	4.鎖骨下動脈 1)鎖骨下動脈 5.上肢の動脈 1)上腕の動脈 2)前腕と手の動脈 (教) pp.342-347	・鎖骨下動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・腋窩動脈と上腕動脈の枝の種類と走行について説明できる。	二宮 禎	C-3-4)身体を構成する組織と器官
8		7.1	1	6. 胸部と腹部の動脈 1)胸大動脈 2)腹大動脈 (教) pp.347-351	・胸大動脈と腹大動脈の走行について説明できる。		C-3-4)身体を構成する組織と器官
9		7.8	1	7. 骨盤と下肢の動脈 1)総腸骨動脈 2)下肢の動脈 (教) pp.347-351	・総腸骨動脈とその枝の内・外腸骨動脈の走行について説明できる。 ・大腿動脈とその枝の種類と走行について説明できる。 ・下腿に分布する動脈の種類と走行について説明できる。	二宮 禎	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-2)口腔領域の構造と機能
10		7.15	1	8. 上大静脈 1)頭頸部の静脈 2)胸部と上肢の静脈 3)奇静脈系 (教) pp.351-358	・上大静脈への血液の流れについて説明できる。 ・頭頸部の主要な静脈の走行について説明できる。 ・胸部と上肢の主要な静脈の種類と走行について説明できる。 ・奇静脈系の種類と走行について説明できる。	二宮 禎	C-3-4)身体を構成する組織と器官
11		7.22	1	8. 下大静脈	・下大静脈に血液を送る主要な静脈	二宮 禎	C-3-4)身体を

				<p>1)腹部と下肢の静脈</p> <p>2)門脈</p> <p>3)胎児の血管系 (教) pp.358-363</p>	<p>の種類と走行について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹部と下肢にみられる主要な静脈の種類と走行について説明できる。</li> <li>・門脈の位置と機能について説明できる。</li> <li>・胎生期の血液の流れについて説明できる。</li> </ul>		<p>構成する組織と器官</p>
12		7.29	1	<p>9. リンパ管系</p> <p>1)リンパとリンパ管</p> <p>2)リンパ本幹</p> <p>3)リンパ節</p> <p>4)リンパ性器官 (教) pp.363-376</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパの成分とリンパ管の機能について説明できる。</li> <li>・リンパ管の種類と構造について説明できる。</li> <li>・リンパ本幹の種類と全身のリンパの流れについて説明できる。</li> <li>・リンパ節の種類と構造について説明できる。</li> <li>・脾臓と胸腺の位置、構造および機能について説明できる。</li> </ul>	二宮 禎	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
13		8.5	1	<p>10. 外皮</p> <p>1)皮膚</p> <p>2)皮膚の付属器 (教) pp.516-524</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚器の種類と機能について説明できる。</li> <li>・皮膚の構造について説明できる。</li> <li>・皮膚に分布する神経終末の種類について説明できる。</li> <li>・皮膚腺と角質器の種類と構造について説明できる。</li> </ul>	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p>
14		8.12	1	<p>11. 視覚器</p> <p>1)眼球</p> <p>2)副眼器 (教) pp.524-536</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼球壁の種類と構造について説明できる。</li> <li>・眼球内容の種類と構造について説明できる。</li> <li>・眼瞼、結膜、涙器の位置と構造について説明できる。</li> <li>・外眼筋の種類、走行、機能および神経支配について説明できる。</li> <li>・視覚の神経伝導路について説明できる。</li> </ul>	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p>
15		8.19	1	<p>12. 平衡感覚器</p> <p>1)外耳</p> <p>2)中耳</p> <p>3)内耳 (教) pp.536-545</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外耳、中耳、内耳の構造について説明できる。</li> <li>・鼓室の構造について説明できる。</li> <li>・骨迷路と膜迷路の構造について説明できる。</li> </ul>	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p>

					<p>・聴覚と平衡感覚の神経伝導路について説明できる。</p>		
--	--	--	--	--	---------------------------------	--	--

